

『<sup>わ</sup>環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成18年12月21日	
		作成部署	土木建築部港湾課	
事業名	地方港湾久美浜港 海岸侵食対策事業	構想番号	(港・建) 構-18-02	
		地区名	地方港湾久美浜港 (湊宮葛野地区)	
概算事業費	7.3億円	事業期間	昭和62年度～平成22年度	
事業概要	護岸(補強) 1296m			
関連する公共事業	なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO <sub>2</sub> 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	小天橋は消滅が危惧されている砂州地形としてレッドデータブックに記載され、保全が必要。	護岸の整備により海岸地形の保全を図る。	△
	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	事業の実施に伴い既設護岸の取壊しを行った場合、大量のコンクリート殻が発生することから、殻の発生抑制、再使用、リサイクルなどが必要。	既設護岸の取壊しを可能な限り抑える護岸構造とし、コンクリート殻の発生を抑制した。	△
	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	施工地の久美浜湾は山陰海岸国立公園に位置することから、自然景観を損ねない護岸が必要である。	階段ブロックの着色や水叩部にインターロッキングブロックと御影石を使用することで、景観に優れた施設とする。	○
地域の環境像	山陰海岸国立公園に位置する久美浜港は、北は日本海に面し、砂州”小天橋”によって内海と外海に隔てられ、わずかに湊大橋の下を流れる水路によってつながる汽水湖である。湾内一帯は鳥獣保護区に指定されている。			
特記事項	なし			

※「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善○、中立△、悪化×)